

- 大規模な感染拡大時において、医療機関からFAXによる発生届の提出により保健所業務がひっ迫。
- 今後のさらなる感染拡大に備え、患者情報を迅速に共有し、重症化リスクの高い陽性者への対応を確実に実施するため、医療機関においてHER-SYS入力による発生届の提出を促進

◇取組概要

- 診療・検査医療機関（2,186機関）すべてに対して、HER-SYSによる発生届入力について文書により協力要請
- 過去にFAXによる発生届の提出のあった医療機関（2,078機関）に対し、架電又は訪問による働きかけを実施
- 4月13日診療・検査医療機関担当者を対象に、HER-SYSの利用方法に関する研修会を実施（500名参加）

◇架電等による聞き取り状況（R4.4.20時点）

FAXによる発生届出のあった医療機関※

2,078機関、309,365件

※過去に6件以上の発生届を提出した医療機関

実施済又は実施予定

707機関、135,257件

検討中

496機関、68,369件

困難、予定なし

875機関※2、105,739件

※2うち病院72機関、診療所803機関

【HER-SYS入力割合】（R4.4.11時点）

医療機関入力率

大阪府

55%

全国平均

68%

（R4.5.8時点）

医療機関入力率

大阪府

71.4%※

全国平均

—

※府のHER-SYS入力情報を集計

◇今後の取組

- ※ 「検討中」と回答した医療機関の課題を抽出の上、特に発生届の件数の多い医療機関を中心に、導入支援を行う。